

あの…「探究」って、なんでしたっけ？

突然ですが読者のみなさん、

「探究的な学び」って、「どんな学び」か説明できますか？

この通信をはじめ、教育界隈では最近「探究」という言葉をよく見聞きすると思います。数年前から施行されている**新学習指導要領でもこの言葉が目玉**となっています。字面からなんとなくイメージもできるような気もしますが、いざ「説明して」なんて言われるとどうでしょう？

実はこれ、学校の先生方でも聞かれると「**ギクッ**」という音が聞こえてくる質問なのです（どこかで教員に会う機会があれば、イジワルで聞いてみてください。笑）。

鹿追町が掲げている定義はこうです。

正解を暗記する勉強法ではなく、自ら問いを立てて、課題を解決するために情報を収集し、みんなで意見を出し合い、解決へと導く能力を育てていく学習。（引用元&詳しく知りたい方はこちら→：[鹿追町用小中高一貫教育サイト](#)“探究学習、始まります”）

だいぶ分かりやすくなっていると思います。

私はここから更にシンプルに要約して、

問題には2種類。「答えのある問題」と「答えのない問題」。

このうち、「**答えのない問題**」の方にbetterな（より良い）**答えを出すための学び**だよ。。。と説明します。

・・・まだ長い！？

ではもう一言で・・・**「答えのない問題への挑戦！」**

いかがでしょう？

コミュニティプロジェクト発表会

この、**答えのない問題への挑戦をする時の手順**ですが、これは突き詰めると意外とシンプルです。

①課題について**調査する**（原因は？他の人・場所ではどんな対策をしてるの？基礎知識は？）

→②調査結果を参考にしつつ自分なりの**解決策を立てる**（必要があれば周りの説得）

→③**実行！！**

→④**振り返り**（解決策は有効だったか？より良いやり方はないのか？新たに浮かび上がってきた課題は？etc）

そうです。以前にもお伝えしたことのある

調査→計画→実行→反省のサイクルです。([鹿中IB通信NO.9](#))

型はシンプル。 シンプルながら、奥が深い。

この各サイクルの質を向上させるために各教科の授業で子どもたちはこのようなことを頑張ります↓

探究（課題解決）のサイクル

各教科や学校生活での学びが
各ステップの質を高めていく



そして**全サイクルを中学校生活の集大成として実際にやってみよう**というのが、3年生が総合的な学習の時間の一環として行なっている《コミュニティプロジェクト (CP) 》です。

実は、ご家庭には配信されております通り、このプロジェクトの発表会が明後日、11月21日（木）に行われます。

令和6年11月8日

鹿追町立鹿追中学校
3年生保護者 様

鹿追町立鹿追中学校長
上野 精嗣

3学年 総合的な学習の時間「CP コミュニティ・プロジェクト」発表会のご案内

清秋の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、特段のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、第3学年では「総合的な学習の時間」において、今まで身につけてきた様々な知識とスキルを使って地域（コミュニティ）のニーズに働きかける「行動としての奉仕活動」の取組を行っています。

つきましては、下記の通りこれまでの学習活動の発表会を開催いたします。お忙しいところ大変恐縮ではございますが、関係各位のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時 令和6年11月21日（木） 13時45分～14時45分まで
- 2 場所 鹿追町立鹿追中学校 3階 3A教室、3年補助教室、2A教室、音楽室
- 3 案内範囲 鹿追町議会議員、鹿追町役場関係各位
- 4 発表内容（発表の主な内容です）

鹿追の舗道を直す	鹿追の特産品を使った食べ物	お風呂サウナをやってみた
鹿追の自然を使ったアスレチック	ザリガニ防除ボランティア	ザリガニ駆除と広報
メタバースの利用	素晴らしい鹿追の白蛇姫舞	撮り鉄のための絶景ポイントを求めて
道の駅のソフトクリームを宣伝	しかおい道の駅の改良	鹿追町を活性化させる！！
鹿追の公園に遊具をもっと建てた方がよい理由	学校の給食の残りを減らす方法	アレルギーがある子どもでも楽しめるドリンク
鹿追の牛乳を使ったデザート	野球人口を増やす	アートロードで絵画展

※発表当日までにタイトル・内容が変更する的可能性もあります。ご了承ください。

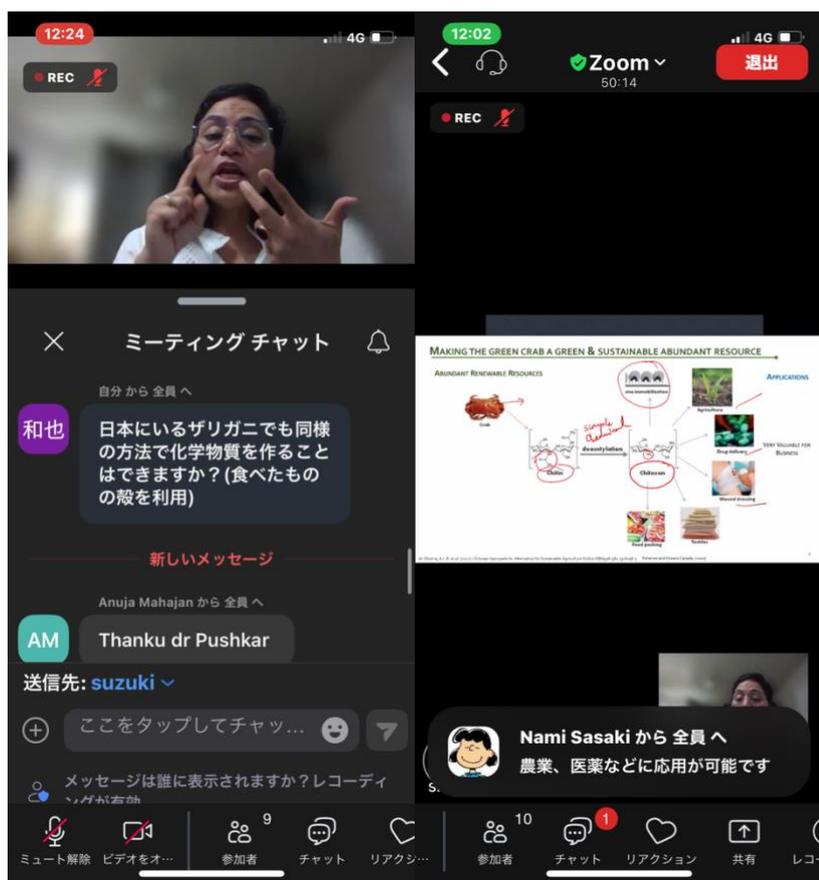
- 5 ご不明な点などございましたら、担当までご連絡いただきますようお願いいたします。

（ お問い合わせ先 担当 茅野
電話 0156-66-3704 ）

課題設定は完全フリーとしていたしましたが、子どもたちのテーマを並べてみると地元鹿追を取り扱っているグループがほとんどで驚きました。地元LOVEですね。

そしてこれは同時に、プロジェクトの実施にあたり地域の方々に沢山のご支援をいただいたことを意味しており、この場を借りてお礼申し上げます。

いくつかのグループでは、地元の課題に焦点を当てつつも敢えて外側まで出て行って情報を得てくることに挑戦したりもしています。どんどん話が繋がって、いつの間にかカナダの大学の教授に通訳を交えてお話を聞いていたグループもありました。すごい・・・。



と、あまり話過ぎるとネタバレになってしまうので控えます。

サイクルは一緒ながら、個性豊かなプロジェクトの報告発表会。どなたでもご参観いただけますので、ご興味があれば是非、鹿追町の未来を担う子どもたちの現在の實力を見にきていただければ幸いです。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

ところでみなさん、、、

「探究的な学び」って、どんな学びか、今は説明できますか？

^^

バックナンバー	概要
<p>鹿中 IB 通信 NO.1</p> <p>↑クリックするとアクセスできます。</p>	<p>この通信の趣旨や国際バカロレアとは何か?について書いています。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.2</p>	<p>年度当初に行った生徒向けの IB オリエンテーションについて書いています。当日の動画や資料も見られます。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.3</p>	<p>こちらは保護者向けの IB オリエンテーションと、同日行われた参観授業（国語）を IB 視点で解説しています。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.4</p>	<p>参観授業紹介第二弾です。理科の授業の内容を《概念》と絡めて書いています。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.5</p>	<p>参観授業紹介ラストです。社会と保健体育の授業の内容から《IB で知識の定着にかける時間が減る問題》に対する工夫について紹介しています。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.6</p>	<p>IB 教育の大きな柱であるATL スキルと 10 の学習者像とはどういったものかについて、道徳の授業実践を元に解説しています。</p>

<p><u>鹿中 IB 通信 NO,7</u></p>	<p>十勝毎日新聞の記事になったというお話と、1学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,8</u></p>	<p>子どもたちが「総括的評価課題」に取り組む様子の紹介と、2学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,9</u></p>	<p>「SA」「CP」についての説明の前段としてのお話と、3学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,10</u></p>	<p>「SA」についての具体的な説明や生徒たちの夏休みの宿題について書いています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,11</u></p>	<p>「コンサルタント訪問」についての説明や面談に向けての生徒や保護者のみなさまとのやりとりについて書いています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,12</u></p>	<p>「コンサルタント訪問」の実際の中身と主に生徒たちの面談での応答について紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,13</u></p>	<p>「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《前編》</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,14</u></p>	<p>「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《後編》</p>